

令和4年度 横浜市立寺尾小学校「交通バリアフリー教室」の実施報告

はじめに

- 横浜市都市整備局都市交通課は、国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局などと連携し、横浜市立寺尾小学校で「交通バリアフリー教室」を実施しました。
- 寺尾小学校は、鶴見区の南西部に位置し、東急東横線「菊名駅」から、またはJR京浜東北線「鶴見駅」からバスでアクセスできます。鉄道駅までは少し距離があることから、両駅を経由するバスが多く運行しています。

1 交通バリアフリー教室の全体概要

【日時】令和5年2月6日（月）10:40～12:15（3校時・4校時）

【対象】寺尾小学校 4年生 97人

【内容】①タクシー・バスのバリアフリーに関する座学

②タクシー車両を活用した
車いす乗降体験・介助体験

【協力】国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局

一般社団法人神奈川県タクシー協会
東宝タクシー株式会社

- 交通バリアフリー教室では、2つのグループに分かれ、知識を学ぶ“座学”と、実際の車両や車いす等を使った“体験”を行いました。
- 座学の時間は、横浜市都市整備局都市交通課が担当し、タクシー車両やバス車両のバリアフリーのことや、関連する知識を学びました。
- 体験の時間では、タクシー事業者である東宝タクシー株式会社の協力のもと、2台のユニバーサルデザインタクシーを校庭に用意し、車両の機能を間近で見たり、実際に車いすに乗って車いすの操作や乗降を体験していただきました。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分留意して実施しました。



全体説明



UDタクシー乗降体験

2 タクシー・バスのバリアフリーに関する座学の内容

- 座学では、「誰でも自由にお出かけできる交通バリアフリーのおはなし」と題し、タクシーやバスのバリアフリー等について、スライドを用いた授業を行いました。
- バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方を、身近にある物を例に学びました。そして、今回乗降体験をするユニバーサルデザインタクシーや、バスにおけるバリアフリーの仕組みについて、クイズや写真を交えて知っていただきました。
- 公共交通におけるバリアフリーの現状に加え、公共交通の現状（利用者数の推移等）もお話しました。バスの利用者がどうして減少してしまっているのか、このまま減少してしまったらどうなるのか、児童たちに問いかけをしました。「バス便が減ってしまっている」、利用者も減ってしまっている、「バス路線がなくなってしまうとバスを利用したい人が困ってしまう」といった意見がありました。
- 公共交通以外にも様々な移動手段がある中で、それぞれの良い点・あまり良くない点を理解し、目的や行き先に応じて公共交通をかしこく使う「モビリティマネジメント」の考え方についても伝え、授業を終えました。

おわりに

- 「バリアフリー」という言葉は知っているが、意味はわからない、という児童も何人かいました。今回の交通バリアフリー教室を通し、「バリアフリー」の意味や考え方を学ぶとともに、車いす体験・介助体験を行い、身をもってその重要性を感じた子どもたちがいたようです。体験の時間の後は「後ろ向きで降りるのは怖かった」といった声がありました。
- 交通バリアフリー教室を通して知ったこと、体験したことがきっかけとなり、バスやタクシーなどの公共交通に親しみを持つとともに、普段の生活の中で、困っている人がいたら積極的に手助けを行うことを期待します。

■ 座学に使った教材



■ 座学の様子

